

**「いいだ未来デザイン 2028」の
中期計画2年目へ向けて**

**～令和3年度「議会による行政評価」からの
評価及び提言書～**

令和 3 年 9 月 27 日

飯 田 市 議 会

令和3年度「議会による行政評価」からの評価及び提言書 構成

1) 前書き

- … 令和3年度「議会による行政評価」の目的及び基本方針
評価対象別の「評価の視点及びポイント」

2) 今年度の決算審査における事務事業評価に関して

- … 事務事業評価に関する方針からのポイント
- … 進め方の手順と評価方法からのポイント
- … 評価対象とした事務事業数及び評価結果の概要

3) 令和3年度「議会による行政評価」の評価及び提言

- … 1 基本目標の2020年度の成果評価
(1) 基本目標 (2) 戦略計画 (3) 昨年の提言に追加しての提言
(4) 分野別計画 (5) 事務事業の2020年度の成果評価
- 2 基本計画の中期初年度としての2021年度の評価
(1) 戦略計画 (2) 進捗状況確認指標

「いいだ未来デザイン2028」基本目標別目次

基本目標1	若者が帰ってこられる産業をつくる	……………	p1～p4
基本目標2	飯田市への人の流れをつくる	……………	p5～p8
基本目標3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む	……………	p9～p15
基本目標4	自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす	……………	p16～p20
基本目標5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	……………	p21～p23
基本目標6	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	……………	p24～p26
基本目標7	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	……………	p27～p29
基本目標8	新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる	……………	p30～p32
基本目標9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する	……………	p33～p35
基本目標10	豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる	……………	p36～p40
基本目標11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める	……………	p41～p44
基本目標12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	……………	p45～p48

令和3年度の「議会による行政評価」は、「令和3年度（2021年度）議会による行政評価実施要項」に基づき、議会として「いいだ未来デザイン2028」の進行管理のため、戦略計画を中心に基本目標ごとに評価及び検証を行った。

今年度は、いいだ未来デザイン2028の中期計画初年度審査にあたるため、年度戦略（小戦略）を評価の対象とし、基本目標の達成に向けて中期4年間で取り組む内容として適当かどうかについての評価を行った。また、進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が年度戦略（小戦略）の達成度或いは進捗状況を図る指標として妥当かどうか、他に指標が必要かどうか等についての検討を行った上で、提言につなげた。

一方で、昨年の行政評価が「いいだ未来デザイン2028」の前期4年間の最終年審査であったために、2017年度から2019年度の3年間の実績に基づく評価を行って中期計画への提言としているが、2020年度の実績に対する評価は未実施であることから、進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）における前期最終年の目標値と実績値との比較を中心に評価を行い、必要があれば前期の提言に追加して提言を行った。

その評価についてまとめるとともに、提言、意見等についてもまとめたので、「いいだ未来デザイン2028」の中期計画2年目となる2022年へ生かされたい。

評価については、以下の点で行い、基本目標別にまとめた。

評価対象	評価の視点及びポイント
1 基本目標	<p>12項目を所管する分科会（連合審査含む）において実施。 2020年度「基本目標評価シート」の説明を受けて、以下の「評価の視点」を持って評価及び検証を行った。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>(1) 基本目標の2020年度の成果評価 2020年度の取り組みを評価及び検証すると共に、進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）における前期4年間の最終目標値と実績値との比較を中心に据えて、改めて前期4年間の評価を行った。 合わせて、昨年行った「前期4年間の取り組みを中期にどうつなげるか」についての評価提言内容を確認し、必要があれば昨年のものに追加して提言を行った。</p> <p>(2) 基本計画の中期初年度としての評価 基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。</p> <p>【評価のポイント】</p> <p>(1) 基本目標の2020年度の成果評価 ① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か ② 取り組みの内容をどう評価するか</p> <p>(2) 基本計画の中期初年度としての2021年度の評価 中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて ① 年度戦略（小戦略）の妥当性 ② 基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等 ③ 進捗状況確認指標は全体からみて有効か</p>
2 戦略計画 （小戦略）	<p>基本目標を達成するための手段である戦略計画を以下の「評価の視点」をもって評価及び検証した。</p> <p>【評価の視点】 基本目標を達成するために戦略計画が果たした役割を成果指標やKPIなどから推定し、その有効性（貢献度）を評価及び検証した。</p>

	<p>【評価のポイント】</p> <p>戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか</p>
3 事務事業	<p>今年度の試みとして、当事者目標及び事務事業の評価を、政策提言へつなげていくため9月の決算審査において行い、基本目標との関係性などを踏まえ、政策に通じる決算審査にしていくように取り組んだ。</p> <p>【評価のポイント】</p> <p>事務事業の評価においては、「継続」「改善」「廃止」など事務事業の今後の方向性をどうすべきか、がポイント。</p>

今年度の決算審査における事務事業評価に関して

<事務事業評価に関する方針からのポイント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「いいだ未来デザイン 2028」における基本目標及び戦略計画について、付随する事務事業を今年度の決算審査行政評価対象とした。 ・基本目標及び戦略計画の達成度や有効性を「評価できない」又は「課題有り」とした点について、事務事業の視点から評価し、検証した。 	
<進め方の手順と評価方法からのポイント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの議会による行政評価において重要としてきた政策評価の視点を持って、令和2年度実績から事務事業に対する課題認識や今後の方向性を確認した。 ・事務事業の基本目標との関係性などを踏まえ、今年度（2021年度）の事務事業において既に改善した点など対応状況についても確認した。 ・事務事業の今後の方向性（「継続」「改善」「廃止」）をどうすべきか、その扱いを整理した後、「改善」「廃止」と扱う事務事業について、検討・要望事項等として評価内容を記載した。 ・評価方法に関して、「改善」とした事務事業については、予算措置の観点から「予算の増額」「予算の減額」の検討及び提案を行った。また、予算を伴わない「やり方改善」の検討及び提案も行った。 ・「廃止」とした事務事業については、予算措置の観点から「事務事業の廃止」を検討し、提案する。ただし、今年度の議会による行政評価においては該当する事務事業はなかった。 	

<評価対象とした事務事業数及び評価結果の概要>

1 2020年度（令和2年度）事務事業の分類

事務事業総数	戦略計画	区分	分科会別
359	小戦略事業 112	政策 97	総務 25 社文 42 産建 30
		経常 15	総務 02 社文 11 産建 02
	非戦略事業 247	政策 135	総務 21 社文 71 産建 43
		経常 112	総務 42 社文 40 産建 30

※ 令和3年度「議会による行政評価」の対象事務事業は、上表の黄色網掛け部分。

2 評価結果の概要

対象事業数	継続	改善	廃止
112	97	15	0

3 改善とした事務事業

年度戦略 (小戦略)	事業 No.	名称
2-① 8-①	13	総合的な空き家対策事業
2-① 8-① 8-②	14	20 地区田舎へ還ろう戦略支援事業
2-①	17	中山間地域振興事業
3-⑦ 3-⑧	297	高校生等次世代育成事業
4-⑤	28	大学とのネットワーク構築事業
9-②	22	人権・男女共同参画推進事業
	24	消費生活センター事業
9-③	23	多文化共生社会推進事業
10-①	156	エコライフ啓発普及事業
10-②	151	おひさまのエネルギー利用推進事業
	154	環境にやさしい交通社会形成事業
10-② 10-③	150	環境モデル都市行動計画進行管理事業
	152	もりのエネルギー利用推進事業
10-④	148	自然環境保全推進事業
12-④	33	交通体系整備事業

基本目標 1 若者が帰ってこられる産業をつくる

1 基本目標の2020年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当であると評価する。
- ・中期において、基本目標1「産業づくり」と基本目標2「人の流れをつくる」に分離集約したことで分かりやすくなった。
- ・いいだ未来デザイン2028策定当時は、若者に光を当て基本目標1を設定することに意義があったと考える。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・取り組みの内容を概ね評価する。
- ・高校生と地元企業を「つなぐ」事業は、学生が地元企業にさらに関心をもつきっかけとなるよう、長期的な観点から力を入れた取り組みとされたい。
- ・新型コロナウイルスの影響があり、達成度が満たない部分もあるが、地域産業の発展と力強い産業づくりのために、息の長い育成と支援を望む。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略(小戦略)	1-①	新産業の創出と地域産業の高付加価値化
		<ul style="list-style-type: none">・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。・エス・バードでの取り組みは評価できる。今後は、試験機器PRを行い、各種企業に利活用を促されたい。・コロナ禍により航空機産業の需要が落ち込む中、培った技術を他分野へ応用発展されたい。

⇒【小戦略1-①】事務事業 No.176 No.217 No.218 No.219 No.220

年度戦略(小戦略)	1-②	地域産業の将来を支える担い手確保・起業家育成
		<ul style="list-style-type: none">・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。・つなぐ事業をはじめとする積極的な取組姿勢を評価する。

⇒【小戦略1-②】事務事業 No.163 No.170 No.203 No.230

年度戦略(小戦略)	1-③	産業振興と人材育成の拠点づくり
		<ul style="list-style-type: none">・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。・「ファブスタ★」では、今後のものづくりに活かせる学習ができることから、学校への売り込みなど参加者拡大を目指す方法を検討されたい。

⇒【小戦略1-③】事務事業 No.217 No.218 No.220 No.221

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性

—

② 取り組みの内容に対する評価

—

(5) 事務事業の 2020 年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	1-①	新産業の創出と地域産業の高付加価値化
---------------	-----	--------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	176	事務事業名	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業
事務事業No.	217	事務事業名	産業振興事業
事務事業No.	218	事務事業名	人材育成事業
事務事業No.	219	事務事業名	企業誘致・立地促進事業
事務事業No.	220	事務事業名	新産業創出事業

年度戦略 (小戦略)	1-②	地域産業の将来を支える担い手確保・起業家育成
---------------	-----	------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	163	事務事業名	雇用対策事業
事務事業No.	170	事務事業名	担い手確保・育成支援事業
事務事業No.	203	事務事業名	起業家育成支援事業
事務事業No.	230	事務事業名	事業承継支援事業

年度戦略 (小戦略)	1-③	産業振興と人材育成の拠点づくり
---------------	-----	-----------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	217	事務事業名	産業振興事業（再掲）
事務事業No.	218	事務事業名	人材育成事業（再掲）
事務事業No.	220	事務事業名	新産業創出事業（再掲）
事務事業No.	221	事務事業名	産業振興と人材育成の拠点整備事業

基本目標 1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	1-①	地域産業の育成による高付加価値化
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は妥当である。 ・航空機産業に偏らない産業振興支援をどのように進めるか。例えば、製造業では人手不足が顕著でロボット導入を考えざるを得ないなど、企業が市に求めているニーズを把握して的確な支援が求められる。 ・航空機産業分野の記述が皆無となっているが、前期計画までの取り組みは否定されるものではなく、投資をし、特区の認定を受けているため、今後も航空機産業分野について注視していく必要がある。 ・「稼ぎ、安心して働ける『魅力ある産業』」として、6 次産業は期待できる事業であるが、目標に対して実績が結びついていないため、コロナ禍における販売体制への影響もふまえて、行政が支援する必要がある。 		

年度戦略 (小戦略)	1-②	地域内経済循環の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・地域内経済循環の推進として、「農+食・観光」をつなげる視点は評価する。この仕組みが定着するよう取り組まれない。 ・少しでも多く地域産品を活用することに意義があるため、計画の実効性や達成度を見ながら評価していく。 		

年度戦略 (小戦略)	1-③	事業継続と新たなビジネスモデルへの取り組み支援
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・コロナ禍において、4 項目の事業推進にあたっては、問題点を把握して取り組まれない。 		

年度戦略 (小戦略)	1-④	地域産業を支える担い手の育成・確保と起業家の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・信州大学との連携強化を引き続き図り、農学部系・教育学部系の学部設置、南信州キャンパスの実現に取り組まれない。 ・エス・バードについては、出前講座、PR などを行い、より多くの市民、企業が気軽に利活用できる敷居の低い場となるよう取り組まれない。 ・農業定着率が高い親元就農、建築関係分野の匠の後継者育成に取り組まれない。 		

年度戦略 (小戦略)	1-⑤	地域が支える農林業の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・地域の土台をなすのは農林業であり、年度戦略の一つとして抜き出されたことは評価する。 ・産業としての農業を成り立たせ、持続可能な地域づくりを実現できるよう、中小規模でも戦略的に稼ぐことができる魅力ある農業の実現に取り組まれない。 ・稼ぐ農業の振興と「農ある豊かな暮らし」に向けた取り組みを推進し、「地域が」ではなく「地域を」支える農林業の実現に取り組まれない。 		

年度戦略 (小戦略)	1-⑥	経済効果を生む観光産業の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略(小戦略)は概ね妥当である。 ・観光を「魅力ある産業」と位置づけ、基本目標2から基本目標1へ移動したことは評価できる。 ・天龍峡の観光については、新たな取り組みも始まったことから、それらを結ぶ周遊観光に取り組まれない。 ・遠山郷については、例えばファンドや民間活力の導入検討を視野に入れながら、地元との協議をしっかりと行い、早急な対応を望む。 ・コロナ収束後を見据えた観光戦略として、南信州観光公社と連携し、インバウンドや地元が潤う仕組みづくりに取り組まれない。 		

年度戦略 (小戦略)	1-⑦	働きやすい環境づくりの推進
<ul style="list-style-type: none"> ・中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略(小戦略)は概ね妥当である。 ・「働きやすい環境づくり」という視点で、基本目標9から、基本目標1へ位置付けたことは評価する。 ・「ワーク・ライフ・バランス企業懇談会」など、今年度実施を予定する事業に期待する。 		

年度戦略 (小戦略)	1-⑧	企業誘致、オフィス誘致の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略(小戦略)は概ね妥当である。 ・当地に資する企業への戦略的なアプローチや仕掛けを展開されたい。 ・コロナ収束後を見据えたオフィス誘致、ワーケーションなど、先行して取り組んでいる地域があることから、危機感を持って取り組まれない。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標(KPI)、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況確認指標、重要業績評価指標(KPI)、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として概ね妥当である。 ・新たに設定された「観光消費額」の指標に注目するとともに、前期と比べて指標が細分化され、具体的になり、目標達成の実現性を高める指標に改善された点を評価する。 		
--	--	--

基本目標 2 飯田市への人の流れをつくる

1 基本目標の 2020 年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当であると評価する。
- ・成果指標やK P Iは、コロナ禍の中、観光や体験プログラムに関する指標は大幅に落ち込んでいるが、その他は概ね目標を達成しており評価できる。
- ・飯田市への人の流れをつくる上で、移住定住の取り組みは、短期的・中期的な戦略を並行して進め、一定の効果を上げていることは評価する。
- ・「移住候補地としての評価が高まってきている」をいかに「移住する場所として選定してもらえ」に変えるための取り組みが必要である。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・取り組みの内容を評価する。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やK P I などから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略 (小戦略)	2-①	飯田だから実現できるライフスタイルの提案と受け皿づくり
---------------	-----	-----------------------------

- ・基本目標の達成に向けて、その役割を果たしている。

⇒【小戦略2-①】事務事業 No.13 No.14 No.17 No.20

年度戦略 (小戦略)	2-②	観光産業を基軸とした交流人口の拡大-DMOと連携した観光誘客、天龍峡と遠山郷-
---------------	-----	---

- ・基本目標の達成に向けて、その役割を果たしている。
- ・コロナ禍において、観光を軸とした交流人口の拡大は苦戦を強いられたが、実施すべき事業を実施しており評価する。
- ・天龍峡ナイトミュージアムやそらさんぽ天龍峡、龍東道等の新たな魅力を活かすためにも、コロナ収束後を見据えた地域内プログラムの更なる充実、関東・中京圏等への宣伝戦略の再構築を図られたい。

⇒【小戦略2-②】事務事業 No.206 No.209 No.211 No.212 No.214

年度戦略 (小戦略)	2-③	丘のまちの既存ストック魅力増進・連携活用
---------------	-----	----------------------

- ・コロナ禍で実施した個々の取り組みは評価できるが、「飯田市への人の流れをつくる」という基本目標達成のために役割を果たしたとは言い難い。
- ・コロナ禍の中で「つながるバル」「バーチャル丘フェス」等の取り組みは評価する。

⇒【小戦略2-③】事務事業 No.201 No.226

年度戦略 (小戦略)	2-④	「小さな世界都市」を目指すブランディング・プロモーションの推進
---------------	-----	---------------------------------

- ・個々の取り組みをみれば評価できるが、「飯田市への人の流れをつくる」という基本目標達成のために役割を果たしたとは言い難い。

⇒【小戦略2-④】事務事業 No.34

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の 2020 年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画成の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	2-①	飯田だから実現できるライフスタイルの提案と受け皿づくり
---------------	-----	-----------------------------

事務事業No.	13	事務事業名	総合的な空き家対策事業（※基本目標 8）
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> 各地区の空き家状況を再調査し貸し出し可能な物件情報の提供を求め、空き家バンクの見直しをされたい。 増加する空き家に対して、特定空き家解体補助金や空き家活用等事業補助金の増額など予算を含めて検討されたい。 	

事務事業No.	14	事務事業名	20 地区田舎へ還ろう戦略支援事業(※基本目標 8)
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> お試し住宅制度を拡充するために、空き家バンク登録家屋を利用するなど検討されたい。 センター長会議での情報をまちづくり委員会と共有し、地区格差の是正につなげられたい。 	

事務事業No.	17	事務事業名	中山間地域振興事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> 事業の継続性のため、必要な地域には複数の地域協力隊員の配置を検討されたい。 農家で使用されなくなった使用可能な農林業機具を調査し、J A など関係機関との連携による農機具バンクを設立し、新規就農者等への低料金での貸し出しを検討されたい。 地域資源の活用について、中山間地域においては林業の視点も入れて活動されたい。 	

事務事業No.	20	事務事業名	移住定住推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		<ul style="list-style-type: none"> お試し住宅制度を拡充するために、居住可能な空き家の利用を検討されたい。 移住者へのフォローを関係部署と連携し継続されたい。 	

年度戦略 (小戦略)	2-②	観光産業を基軸とした交流人口の拡大 —DMO と連携した観光誘客、天龍峡と遠山郷—
---------------	-----	--

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	206	事務事業名	観光誘客推進事業
事務事業No.	209	事務事業名	観光振興事業
事務事業No.	211	事務事業名	観光地域推進事業
事務事業No.	212	事務事業名	天龍峡まちづくり支援事業
事務事業No.	214	事務事業名	遠山郷観光戦略プロジェクト事業

年度戦略 (小戦略)	2-③	丘のまちの既存ストック魅力増進・連携活用
---------------	-----	----------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	201	事務事業名	にぎわい創出店舗活用事業
事務事業No.	226	事務事業名	中心市街地活性化事業推進事務

年度戦略 (小戦略)	2-④	「小さな世界都市」を目指すブランディング・プロモーションの推進
---------------	-----	---------------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	34	事務事業名	IIDA ブランド推進事業
---------	----	-------	---------------

▼「いいだ未来デザイン 2028」中期計画

基本目標	2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる
------	---	-----------------------------------

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	2-①	飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
<ul style="list-style-type: none"> ・中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・これまで取り組んできた「小さな世界都市」を目指すブランディングプロモーションと基本目標2の小戦略①との関係性を明確にされたい。 ・津田塾大学、飯田コアカレッジとの連携など、これまでの取り組みを大切にされたい。 		

年度戦略 (小戦略)	2-②	中心市街地の賑わいのある街づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は妥当である。 ・賑わいの創出には若者の存在が欠かせないため、中高生、若者の意見を十分に受け入れ、進められたい。 ・整備事業の取り組みが、にぎわいある交流事業につながるよう取り組まれたい。 		

年度戦略 (小戦略)	2-③	「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・つなぐ事業の参加企業の増加、つなぐ事業のキャリア教育との連携、県と市、そして企業との連携、高校卒業後に一旦地元を離れた学生が、地元企業に就職できる仕組みや工夫について取り組まれたい。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として概ね妥当である。
--

1 基本目標の 2020 年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当。
- ・地育力に関する市民意識調査で、平成 29 年から令和 2 年で毎年下降している結果に対する分析がされていない。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・コミュニティスクール等、さまざまな取り組みが推進されたことは評価する。
- ・しかし、コミュニティスクール等の取り組みの推進にあたって、課題認識や問題意識が十分に見えてこない。例えば、コロナ禍における影響や不登校児童・生徒数の増加など学校現場の課題は多い。
- ・市民意識調査の分析がされていないことから、十分な施策や対策となっているか、また、施策の成果が指標に反映されているかわからない。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標や K P I などから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略 (小戦略)	3-①	学力向上「結い」プランの徹底
---------------	-----	----------------

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、方向性としては概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・学力向上「結い」プランの取り組みは評価するが、その推進については、市内全校の均衡を図る必要がある。

⇒【小戦略 3-①】事務事業 No.272

年度戦略 (小戦略)	3-②	外国語教育の推進
---------------	-----	----------

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。

⇒【小戦略 3-②】事務事業 No.274

年度戦略 (小戦略)	3-③	人間関係づくり(不登校対策等)
---------------	-----	-----------------

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、方向性としては概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・不登校対策の取り組みの成果指標からは十分な成果は出ているとは判断できないが、引き続き、居場所づくりや支援の連携、一人ひとりに寄り添う指導など有効な不登校対策を取りながら、さらなる取り組みの推進が必要。また、未然防止の取り組みも必要である。

⇒【小戦略 3-③】事務事業 No.264

年度戦略 (小戦略)	3-④	特別支援教育の充実
---------------	-----	-----------

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・特別支援教育支援員の配置の取り組みは一定の評価をする。今後、適切な配置の検討が必要。
- ・副学籍による交流の取り組みは評価できる。引き続き、さらなる推進、充実が必要。

⇒【小戦略 3-④】事務事業 No.275

年度戦略 (小戦略)	3-⑤	スポーツ文化の醸成に向けた取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画は基本目標の達成のため、方向性としては概ねその役割を果たしたと評価する。 ・2020年は新型コロナウイルスにより、スポーツ文化醸成の取り組みは進められなかったと理解。 ・コーディネーショントレーニングの取り組みは評価するが、有効性については効果検証が必要。 ・全市型競技別スポーツスクールへの中学生の参加率が低い。今後の方向性を含め検証が必要。 		

⇒【小戦略3-⑤】事務事業 No.321 No.322

年度戦略 (小戦略)	3-⑥	ICT（情報処理や通信に関する技術）を活用した飯田市の教育課題へ対応と、21世紀型スキル（問題解決型能力）の習得
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への端末導入、遠隔会議システムを活用した合同会議の取り組みなどは一定の評価をする。 ・インターネットや端末機器の適切な使用に対する課題認識が不十分。モラル教育やネットから子どもを守るための取り組みが急務。 ・ICTを活用した教育は今後さらに重要になるが、児童生徒だけでなく、教職員の負担などにも配慮した慎重な推進が必要。 		

⇒【小戦略3-⑥】事務事業 No.276

年度戦略 (小戦略)	3-⑦	地育力を活用した人づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。 ・コミュニティスクールについて、その意義などの保護者への浸透は引き続きの課題。また、コミュニティスクールへの地域の関わりも重要。 		

⇒【小戦略3-⑦】事務事業 No.28 No.287 No.288 No.297 No.299

年度戦略 (小戦略)	3-⑧	LG（地域・地球）飯田教育の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画は基本目標の達成のため、方向性としては概ねその役割を果たしたと評価する。 ・2020年は新型コロナウイルスにより、事業中止はやむないと理解。また、オンライン交流など工夫して取り組まれたことは評価する。更なる活用が必要。 		

⇒【小戦略3-⑧】事務事業 No.277 No.289

年度戦略 (小戦略)	3-⑨	発達段階に応じた子どもの読書活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。 ・インターネット化が進む今だからこそ、読書の重要性を大切にしたい、読書活動の推進が必要。 		

⇒【小戦略3-⑨】事務事業 No.304

年度戦略 (小戦略)	3-⑩	学校区等の全市的視点からの研究
<ul style="list-style-type: none"> ・児童数の減少、学校施設の老朽化などの課題に対して取り組む必要性は認識する。 ・2021年度より意見交換を始めたところであり、方向性が出せるように今後の研究が重要となる。また、十分な検討のため、体制のあり方も課題。 		

⇒【小戦略3-⑩】事務事業 No.281

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の 2020 年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	3-①	学力向上「結い」プランの徹底
---------------	-----	----------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	272	事務事業名	学力向上推進事業
---------	-----	-------	----------

年度戦略 (小戦略)	3-②	外国語教育の推進
---------------	-----	----------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	274	事務事業名	外国語教育推進事業
---------	-----	-------	-----------

年度戦略 (小戦略)	3-③	人間関係づくり（不登校対策等）
---------------	-----	-----------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	264	事務事業名	人間関係づくり支援事業
---------	-----	-------	-------------

年度戦略 (小戦略)	3-④	特別支援教育の充実
---------------	-----	-----------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	275	事務事業名	特別支援教育支援事業
---------	-----	-------	------------

※事務事業No.275「特別支援教育支援事業」は、小戦略9-③に関連。

年度戦略 (小戦略)	3-⑤	スポーツ文化の醸成に向けた取り組み
---------------	-----	-------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	321	事務事業名	市民スポーツ推進事業
---------	-----	-------	------------

事務事業No.	322	事務事業名	競技力向上支援事業
---------	-----	-------	-----------

年度戦略 (小戦略)	3-⑥	ICT（情報処理や通信に関する技術）を活用した飯田市の教育課題へ対応と、21世紀型スキル（問題解決型能力）の習得
---------------	-----	--

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	276	事務事業名	ICT教育推進事業
---------	-----	-------	-----------

年度戦略 (小戦略)	3-⑦	地育力を活用した人づくり
---------------	-----	--------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	287	事務事業名	地域人育成一貫カリキュラム推進事業
事務事業No.	288	事務事業名	飯田型キャリア教育推進事業
事務事業No.	299	事務事業名	飯田コミュニティスクール推進事業

※事務事業No.288「飯田型キャリア教育推進事業」は、小戦略4-②に関連。

事務事業No.	297	事務事業名	高校生等次世代育成事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		※検討・要望事項等は、小戦略3-⑧の個別事務事業評価に記載。	

※事務事業No.297「高校生等次世代育成事業」は、小戦略3-⑧に関連。

年度戦略 (小戦略)	3-⑧	L G (地域・地球) 飯田教育の充実
---------------	-----	---------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	277	事務事業名	校外活動支援事業
事務事業No.	289	事務事業名	青少年育成事業

※再掲

事務事業No.	297	事務事業名	高校生等次世代育成事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		・振り返り課題認識として事業の見直しの必要性を持っていることを確認しているが、事業の見直しに当たっては、L Gの視点を持ちながら、視野を広げた取り組みや展開を検討されたい。	

※事務事業No.297「高校生等次世代育成事業」は、小戦略3-⑦に関連。

年度戦略 (小戦略)	3-⑨	発達段階に応じた子どもの読書活動の推進
---------------	-----	---------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	304	事務事業名	子ども読書活動推進事業
---------	-----	-------	-------------

年度戦略 (小戦略)	3-⑩	学校区等の全市的視点からの研究
---------------	-----	-----------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	281	事務事業名	小中連携・一貫教育推進事業
---------	-----	-------	---------------

基本目標	3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
------	---	-------------------------------------

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	3-①	学力保障・学力の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・学校間での好事例の横展開、学校間の均衡を保つことが重要である。 ・不登校の児童生徒が増加傾向にあり、不登校対策は大きな課題。小中連携・一貫教育が中1ギャップの軽減による不登校の抑制がねらいであったことから、取り組みの方向性を明確にすべき。 		

年度戦略 (小戦略)	3-②	温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・特別支援教育支援員の適切な配置については、飯田市が定めた配置基準に対しての県との連携も含め今後も検討が必要。また、特別支援教育に関する研修からの取り組み展開が見えない。 ・「誰ひとり取り残さない教育や支援」のためには、学校教育の枠を越えた福祉的な支援も必要と考える。関係機関等との連携や協働も検討が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	3-③	飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・コミュニティスクールの抱える課題は多く、それらの解決のための方策が見えてこない。 		

年度戦略 (小戦略)	3-④	食育の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大のKPIである「地元産野菜利用率の向上」について、目標設定の意図を明確にされたい。 		

年度戦略 (小戦略)	3-⑤	子どもの読書活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は妥当である。 		

年度戦略 (小戦略)	3-⑥	児童の放課後の居場所づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・受け入れ希望について、ニーズなどの調査が必要。支援員などの受け入れ体制の拡充、施設の開館時間延長などは、地域の実情に合わせて十分な検討が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	3-⑦	少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・学校運営協議会での意見交換を始めたばかりであり、今後の動向を注視していく。また、単なる意見交換に終わらないよう、スケジュールなどの検討が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	3-⑧	防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動適応
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は妥当である。 ・リニア関連の工事の進捗に伴う通学路の安全確保は重要課題。また、小中学校のトイレ様式化や学習に集中できる環境の整備などの課題について、計画的な整備が必要。 		

（２）進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> ・小戦略3-②、3-③のKPIとして「学習支援ボランティアの人数」を追加するよう検討されたい。 ・小戦略3-⑥について、保護者のニーズや満足度に関する指標の追加を検討されたい。

基本目標 5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	5-④	市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 「何の為のスポーツか」「何を目的としたスポーツイベントか」再確認が必要。小戦略の目的や方向性をより明確にした取り組みが必要。 		

年度戦略 (小戦略)	5-⑤	競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 トップアスリートの育成には充実した練習環境も必要になってくるが、育成のための具体的な取り組みが見えてこない。 		

年度戦略 (小戦略)	5-⑥	中学生期の多様なスポーツ環境の充実
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 全市型競技別スポーツスクールの現状や実態から今後の方向性について検証が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	5-⑦	スポーツ施設の整備、サービス向上
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 スポーツ施設の計画的な整備、施設利用のネット予約・使用料決済はサービス向上のため必要。一方で、予約・決済システムに不慣れな人にも配慮が必要。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

—

基本目標 4 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす

1 基本目標の2020年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・「伊那谷の自然と文化」をテーマとした学術研究、教育普及、保存継承、活用創造に取り組みについて一定程度進めていることは評価する。
- ・学術研究等の幅広い取り組みがあるなかで、「知の拠点」機能を高める取り組み内容からは地域振興の推進状況がわからない。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略
(小戦略)

4-①

「伊那谷の自然と文化」をテーマとした学術研究

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・基本目標の「新たな文化をつくりだす」への役割については、わからない。

⇒【小戦略4-①】事務事業 No.290 No.291 No.292 No.306 No.307 No.320

年度戦略
(小戦略)

4-②

「伊那谷の自然と文化」をテーマとした教育普及

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、様々な取り組みが展開されていることから、その役割を果たしたと評価する。
- ・美術博物館、竹田人形館、川本喜八郎人形美術館の取り組み成果以外の施設、例えば「柳田国男館」「日夏耿之介記念館」のさらなる活用に取り組みたい。

⇒【小戦略4-②】事務事業 No.293 No.298 No.308 No.309 No.310 No.315 No.317 No.318

年度戦略
(小戦略)

4-③

「伊那谷の自然と文化」の保存継承

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、恒川官衙遺跡公園の整備事業が順調に進んだことなどから、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・遠山郷土資料館などの遠山谷の施設はほぼ休眠状態であり、利活用に課題がある。

⇒【小戦略4-③】事務事業 No.312 No.313 No.316

年度戦略
(小戦略)

4-④

「伊那谷の自然と文化」を活用した市民文化活動の支援

- ・コロナ禍にあって、代替企画等に取り組んだことは評価できる。
- ・市民の文化活動として「いいだ人形劇フェスタ」「オーケストラと友に音楽祭」は継続した取り組みが必要。
- ・この小戦略による「小さな世界都市」の実現へ向けた成果と今後の方向性が不明。

⇒【小戦略4-④】事務事業 No.290 309 315 316 320

年度戦略 (小戦略)	4-⑤	地域内外の「知が対流」する場の形成に向けた取組の推進
---------------	-----	----------------------------

・コロナ禍にあつて、オンライン企画などに取り組んだことは評価できる。

⇒【小戦略4-⑤】事務事業 No.305

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
・教育振興計画と「学輪 I I D A」との関係性がわからない。

(5) 事務事業の 2020 年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画等の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	4-①	「伊那谷の自然と文化」をテーマとした学術研究
---------------	-----	------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	290	事務事業名	文化財保護事業
事務事業No.	291	事務事業名	埋蔵文化財調査事業
事務事業No.	292	事務事業名	飯田古墳群保存活用事業
事務事業No.	306	事務事業名	美術博物館管理事業
事務事業No.	307	事務事業名	美術博物館資料調査研究・収集保管事業
事務事業No.	320	事務事業名	歴史研究所事業

※事務事業No.290「文化財保護事業」は、小戦略4-②、4-③、4-④にも関連。

※事務事業No.307「美術博物館資料調査研究・収集保管事業」は、小戦略4-③にも関連。

※事務事業No.320「歴史研究所事業」は、小戦略4-②、4-③、4-④、4-⑤にも関連。

年度戦略 (小戦略)	4-②	「伊那谷の自然と文化」をテーマとした教育普及
---------------	-----	------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	293	事務事業名	恒川遺跡群保存活用事業
事務事業No.	298	事務事業名	多様な学習交流支援事業
事務事業No.	308	事務事業名	美術博物館展示公開事業
事務事業No.	309	事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業
事務事業No.	310	事務事業名	美術博物館プラネタリウム運営事業
事務事業No.	315	事務事業名	文化会館文化芸術事業
事務事業No.	317	事務事業名	竹田人形館管理運営事業
事務事業No.	318	事務事業名	川本人形美術館管理運営事業

事務事業No.	288	事務事業名	飯田型キャリア教育推進事業（再掲）
事務事業No.	290	事務事業名	文化財保護事業（再掲）
事務事業No.	320	事務事業名	歴史研究所事業（再掲）

※事務事業No.297「恒川遺跡群保存活用事業」は、小戦略4-③にも関連。

※事務事業No.298「多様な学習交流支援事業」は、小戦略4-③にも関連。

※事務事業No.309「美術博物館教育普及・活動支援事業」は、小戦略4-③、4-④、4-⑤にも関連。

※事務事業No.315「文化会館文化芸術事業」は、小戦略4-④にも関連。

※事務事業No.288「飯田型キャリア教育推進事業」は、小戦略3-⑦にも関連。

※事務事業No.290「文化財保護事業」は、小戦略4-①、4-③、4-④にも関連。

※事務事業No.320「歴史研究所事業」は、小戦略4-①、4-③、4-④、4-⑤にも関連。

年度戦略 (小戦略)	4-③	「伊那谷の自然と文化」の保存継承
---------------	-----	------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	312	事務事業名	上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業
事務事業No.	313	事務事業名	南信濃民芸等関係施設管理運営事業
事務事業No.	316	事務事業名	人形劇のまちづくり事業
事務事業No.	290	事務事業名	文化財保護事業
事務事業No.	309	事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業（再掲）
事務事業No.	320	事務事業名	歴史研究所事業（再掲）

※事務事業No.316「人形劇のまちづくり事業」は、小戦略4-④にも関連。

※事務事業No.290「文化財保護事業」は、小戦略4-①、4-②、4-④にも関連。

※事務事業No.309「美術博物館教育普及・活動支援事業」は、小戦略4-②、4-④、4-⑤にも関連。

※事務事業No.320「歴史研究所事業」は、小戦略4-①、4-②、4-④、4-⑤にも関連。

年度戦略 (小戦略)	4-④	「伊那谷の自然と文化」を活用した市民文化活動の支援
---------------	-----	---------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	290	事務事業名	文化財保護事業（再掲）
事務事業No.	309	事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業（再掲）
事務事業No.	320	事務事業名	歴史研究所事業（再掲）
事務事業No.	315	事務事業名	文化会館文化芸術事業（再掲）
事務事業No.	316	事務事業名	人形劇のまちづくり事業（再掲）

※事務事業No.290「文化財保護事業」は、小戦略4-①、4-②、4-③にも関連。

※事務事業No.309「美術博物館教育普及・活動支援事業」は、小戦略4-②、4-③、4-⑤にも関連。

※事務事業No.320「歴史研究所事業」は、小戦略4-①、4-②、4-③、4-⑤にも関連。

※事務事業No.315「文化会館文化芸術事業」は、小戦略4-②にも関連。

※事務事業No.316「人形劇のまちづくり事業」は、小戦略4-③にも関連。

年度戦略 (小戦略)	4-⑤	地域内外の「知が対流」する場の形成に向けた取組の推進
---------------	-----	----------------------------

事務事業No.	28	事務事業名	大学とのネットワーク構築事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		ネットワーク構築は評価するが、地域振興につながっていない。政策遂行や各事務事業に生かすことにも取り組まれない。	

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	305	事務事業名	図書館事業
事務事業No.	309	事務事業名	美術博物館教育普及・活動支援事業（再掲）
事務事業No.	320	事務事業名	歴史研究所事業（再掲）

※事務事業No.320「歴史研究所事業」は、小戦略4-①、4-②、4-③、4-④にも関連。

▼「いいだ未来デザイン 2028」中期計画

基本目標	4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む
------	---	---

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	4-①	住民の主体的な学びあいの支援
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 市民が主体的に運営する学びの場について、関係者の高齢化が進んでいることから、よりよい支援のために現状分析や支援の検証が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	4-②	子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 L G教育の位置付けや取り組みの方向性の明確化が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	4-③	飯田の価値と魅力の学びと発信
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 		

年度戦略 (小戦略)	4-④	伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 伝統文化や文化財の保存・継承・活用は、飯田の自治を担う、地域の人材育成につながっていくと考え重要。 伝統文化や文化財の活用の推進について、具体的な活動内容が見受けられない。 		

年度戦略 (小戦略)	4-⑤	社会教育施設の整備、サービス向上
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 飯田市公民館の（仮称）飯田駅前プラザ移転については、市民、ことに地域の皆さん、利用の想定される方の意見をしっかり聞いて検討されたい。 		

（２）進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> 「飯田市美術館来館者数」は、目標値は直しても、推移の把握は必要。 「地域資源（指定文化財）活用件数」の設定がわからないため、より明確化が必要。
--

▼「いいだ未来デザイン 2028」中期計画

基本目標	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる
------	---	-----------------------------

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

（１）戦略計画

中期４年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	5-①	「人形劇のまちづくり」の推進
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 「小さな世界都市」の実現への具体的な取り組みや方向性の明確化が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	5-②	文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 舞台芸術に偏っているように感じる。より多様な文化芸術の取り組みが重要。 		

年度戦略 (小戦略)	5-③	新たな文化芸術活動の拠点づくり
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 駐車場や交通アクセスも重要な課題であるが、飯田下伊那の文化芸術の拠点としての位置付けは重要。 		

（２）進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> 「市内で上演した人形劇公演数」の目標設定がわからない。

基本目標 5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

1 基本目標の2020年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当。
- ・市民意識調査「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」の結果に対する分析が十分にされていない。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・全体としては、さまざまな取り組みが展開されており一定の評価ができる。
- ・特に、「地域主体との連携による特別保育事業」から、市が管理責任を担う「地域協働型運営モデル」に切り替えたことは評価できる。
- ・総体的に何かを行えば成果が上がるというテーマではないため、個別具体的に対応策を検討する必要がある。また、経済的負担の観点など、バランスをとった対応策も重要。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題・方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略
(小戦略)

5-①

「妊娠期から出産・子育てへの途切れない支援

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・合計特殊出生率について、もっと分析する必要がある。
- ・各方面で支援体制の整備が進んだからこそ、支援制度からこぼれ落ちている人がいないか、検証が必要。

⇒【小戦略5-①】事務事業 No.133 No.134 No.137 No.354

年度戦略
(小戦略)

5-②

結婚したいと思う若者へのライフデザイン支援

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・婚活イベントについて、参加者数、カップル成立組数など実績を上げていることについては評価できる。
- ・結婚を前提に移住を希望する女性は、飯田市のどこに魅力を感じているのか調べ、移住政策にも生かせるよう検討が必要。また、移住定住推進室との連携は不可欠。

⇒【小戦略5-②】事務事業 No.67

年度戦略
(小戦略)

5-③

子ども・子育ての希望をかなえる環境づくりの推進

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・園児の保護者の就労状況(出勤時間・帰宅時間)を鑑みて、保育標準時間や保育開始時刻等を調整していることは評価できる。慢性的な保育士不足など人材確保のための取り組みが今後も重要。
- ・市民ニーズに答えられているか、実態と合わせの詳細な現状把握が必要。

⇒【小戦略5-③】事務事業 No.101 No.112 No.113 No.114 No.118

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の 2020 年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画成の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	5-①	「妊娠期から出産・子育てへの途切れない支援
---------------	-----	-----------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	133	事務事業名	乳幼児保健事業
事務事業No.	134	事務事業名	妊産婦健診事業
事務事業No.	137	事務事業名	不妊治療費助成事業
事務事業No.	354	事務事業名	市立病院運営事業

年度戦略 (小戦略)	5-②	結婚したいと思う若者へのライフデザイン支援
---------------	-----	-----------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	67	事務事業名	ともに未来を支え合うパートナーづくり事業
---------	----	-------	----------------------

年度戦略 (小戦略)	5-③	子ども・子育ての希望をかなえる環境づくりの推進
---------------	-----	-------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	101	事務事業名	ひとり親家庭福祉推進事業
事務事業No.	112	事務事業名	民間保育所補助事業
事務事業No.	113	事務事業名	保育士等人材確保支援事業
事務事業No.	114	事務事業名	公立保育所管理事業
事務事業No.	118	事務事業名	児童館・児童センター・児童クラブ運営事業

基本目標 6 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	6-①	結婚の希望をかなえる
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 婚活イベントについて、参加者数、カップル成立組数など実績を上げていることについては評価できるが、実際に婚姻に結びついているかが検証できていない状況は課題。 総体的に何かを行えば成果が上がるというテーマではないため、個別具体的に対処策が重要。 		

年度戦略 (小戦略)	6-②	出産の希望をかなえる
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 妊娠期から出産・子育て期まで寄り添う切れ目ない支援として産後のサポート体制の充実が掲げられ、母子保健コーディネーターとこども家庭応援センターの連携などの取り組みは評価できる。 一層のサポート体制の充実を図るためには、地域の子育て支援団体等（多様な主体）との連携も図り、行政と地域と一体となって取り組んでいく必要がある。 		

年度戦略 (小戦略)	6-③	孤立を防ぎ、子育ての希望をかなえる
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 子育て応援アプリの導入は評価できる。利用者の声を反映したバージョンアップなど今後の取り組みが重要。 父親（男性）の育休取得促進、父親の子育て参加への意識啓発など、子育てにおける男女共同参画推進が重要と考える。 子育てに対する世代間ギャップがある。現在の子育てに合った理解が重要。 		

年度戦略 (小戦略)	6-④	飯田の持ち味を活かし、豊かな育ちを支える
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 「いいだ型自然保育」については、飯田の持ち味を活かす事業として評価できる。 「子育て環境のブランド化」について、U I J ターンした子育て世代からの聞き取り調査の実施し、移住先の決め手の要因としても分析が必要。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（K P I）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況確認指標等、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として概ね妥当である。 子育て環境のブランド化を推進する観点から、他市などの比較できる参考データが必要。 婚活イベントについて、参加者数、カップル成立組数など実績を上げていることについては評価できるが、少子化対策事業の婚活イベントなので、婚姻や出産に結び付いたことを把握できるような指標やデータなど方途を考えられたい。 「つどいの広場延べ利用者数」「ゆいきっず広場利用組数」は引き続き必要。また、これに加えて、コロナ禍を鑑みて「オンライン・リモート対応件数」「電話対応件数」を追加してはどうか。（提案）
--

基本目標 6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす

1 基本目標の2020年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当。
- ・フレイル割合の高さについて、要因分析が不十分。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・短期集中通所型サービスC事業の推進、下久堅をモデル地区とした「通いの場」への支援・研究は評価できる。
- ・65歳以上における要介護認定者数、認定割合に一定の抑制効果が現れていること、健診受診率も伸びている、などの結果から取り組みには一定の評価ができる。
- ・2025年に推計されている要介護認定者数・出現率を考えた時の介護人材や、特別養護老人ホームなどの受入施設の状況をしっかり検証したうえで事業を展開していくことが必要。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題・方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略
(小戦略)

6-①

介護予防(フレイル予防)、重度化防止

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・要支援・要介護認定者数及び出現率の推移も緩やかに下がっており、介護予防の取り組みに効果が見られていることは評価できる。
- ・モデル地区の設定や基幹包括支援センターの職員と地域包括支援センター職員が同行訪問するなど、新たな取り組みは評価できる。

⇒【小戦略6-①】事務事業 No.340

年度戦略
(小戦略)

6-②

働き盛り世代からの生活習慣病予防(健康づくり)

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・企業等への出前健康講座や消防団健康教室を展開したこと、特定健診の受診率も年々増加していることは評価できる。企業との連携による健康講座の拡大と、働き世代から健康づくりについて、企業との連携による健康講座の拡大と、消防団健康教室のデータの活用が望まれる。

⇒【小戦略6-②】事務事業 No.138 No.139

年度戦略
(小戦略)

6-③

高齢者の保健事業(健康づくり)と介護予防の一体的実施

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・高後期高齢者健診への受診勧奨を行い、健診結果から保健指導につなげていることは評価できる。
- ・「なぜフレイルの割合が高いのか」の原因分析とそれに対する対応策の研究が必要。

⇒【小戦略6-③】事務事業 No.140 No.141

年度戦略 (小戦略)	6-④	介護人材の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の状況を考えると介護人材の確保は重要課題であり、積極的に取り組んできたと同える。しかし、介護人材の必要数と現実の就労数の把握が明確ではないため、つまり、需要と供給に実際どれだけ乖離があるのか、解消傾向が見られるのかどうか判別できない。不足等に相応した人材確保の施策が重要。 ・令和元年度に「介護職員初任者研修支援補助金」が創設されたものの、申請件数は2件とのことで成果が表れていない。 ・事業所と連携した行政としての支援策について、引き続きの検討が必要。 		

⇒【小戦略6-④】事務事業 No.87

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の2020年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	6-①	介護予防（フレイル予防）、重度化防止
---------------	-----	--------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	336	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業
事務事業No.	338	事務事業名	一般介護予防事業
事務事業No.	339	事務事業名	基幹・地域包括支援センター運営事業
事務事業No.	340	事務事業名	生活支援サービス創出コーディネート事業

年度戦略 (小戦略)	6-②	働き盛り世代からの生活習慣病予防(健康づくり)
---------------	-----	-------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	138	事務事業名	市民の健康づくり事業
事務事業No.	139	事務事業名	一般健康相談事業

年度戦略 (小戦略)	6-③	高齢者の保健事業(健康づくり)と介護予防の一体的実施
---------------	-----	----------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	140	事務事業名	健康診査事業
事務事業No.	141	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業

年度戦略 (小戦略)	6-④	介護人材の確保
---------------	-----	---------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	87	事務事業名	介護人材確保対策事業
---------	----	-------	------------

▼「いいだ未来デザイン 2028」中期計画

基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
------	---	--------------------

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	7-①	新型コロナウイルス感染症対策の推進
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は妥当である。 		

年度戦略 (小戦略)	7-②	市民、地域とともに進める健康づくり（働き盛り世代からの生活習慣病予防）
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 自らの健康に意識が向きづらい働き盛り世代に対して、企業と連携しての出前健康講座は、自らの健康への関心を高めるきっかけとして生活習慣病予防に貢献すると評価できる。推進のうえでは、企業の理解と協力が不可欠。 健康維持に口腔衛生は重要であり、戦略(考え方)において「口腔衛生(お口の健康)の強化」を掲げているが、口腔衛生をどう進めていくかの具体性が見えない。 		

年度戦略 (小戦略)	7-③	後期高齢者を対象とした保健指導（健康づくり）
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 現状のフレイル状態のチェックと同時に、飯田市のフレイル割合の高い理由を検証し、現状と原因の両方向からのフレイル対策の強化が必要。同時に自ら行動を起こしたがる高齢者への検診受診の働きかけ・継続した保健指導実施の推進も重要。 		

年度戦略 (小戦略)	7-④	介護予防（重度化防止）の推進
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 要介護認定者数・出現率を抑えるためには、軽度者（要支援者・総合事業対象者）に対する介護予防は重要であり、継続した取り組みが必要。 介護予防の状況把握の数値化、生活支援コーディネーターなどの人材の確保なども課題。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（K P I）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> 「介護人材の確保」について、状況が把握できるデータが必要。また、将来の介護職員の必要数について、都道府県が推計値を出しており、推計値の算定基礎があると考えられる。データをもとに、介護職員の必要数の目標値と現状をK P Iに加えるべき。 K P Iの「要介護認定者数・出現率」について、数値の時点や目標値の考え方などの説明の付記が必要。 この基本目標のねらいは「健康寿命の延伸（介護予防の推進）」であるから、K P Iに健康寿命を入れるべき。（去年は「参考」として掲載していた。） 		
---	--	--

基本目標 7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

1 基本目標の 2020 年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当。
- ・この基本目標の達成に向けては、地域コミュニティのあり方が問われる。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・共助による地域福祉活動の推進などの取り組みは、一定の評価ができる。
- ・地域社会を取り巻く課題に対応するため、地域活動による支え合いや住民相互の助け合い（共助）を推進していくことは理解できるが、行政による公的なサービスや制度（公助）についてもしっかりと説明をしていく必要がある。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPI などから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略（小戦略）ごとにまとめた。

年度戦略 (小戦略)	7-①	地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進
---------------	-----	--------------------------

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・共助の実践において、地域福祉の連携をつなぐキーパーソン存在は必須であり、地域福祉コーディネーターはその役割として貢献していることは評価できる。
- ・各地区の福祉課題を検討する「地域福祉課題検討会」が13地区で開催されたこと、また地域支え合い活動の状況から全20地区においてさまざまな事業が展開されていることは評価できる。
- ・地域ごとに異なる課題と、全市共通の福祉課題があると思われるが、共通の課題に各地区で取り組むのは非効率であり、整理が必要。

⇒【小戦略7-①】事務事業 No.66

年度戦略 (小戦略)	7-②	住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築
---------------	-----	----------------------

- ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。
- ・住民支え合いマップの更新、社会全体での見守り強化のための事業者の皆さんとの「地域見守り協定」が17事業所と締結できたことは評価できる。
- ・個人情報の取り扱いの拠り所となるマニュアル整備が済んでいない。民生児童委員の負担感にも関連する課題。
- ・民生児童委員と健康福祉委員、地域福祉コーディネーターの役割分担の明確化と連携強化の更なる取り組みが必要。

⇒【小戦略7-②】事務事業 No.66

年度戦略 (小戦略)	7-③	移動困難者に対する移動手段の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画は基本目標の達成のため、概ねその役割を果たしたと評価する。 ・福祉有償運送事業の全市展開により、移動困難者の利用が市内全域で可能となったことは評価できる。しかし、事業者の安定運営には課題がある。 ・福祉有償運送事業については、対象者がどれだけいるか、そのうちの利用状況や利用しない理由などを明確化し、必要な人への支援とすることが重要。 		

⇒【小戦略7-③】事務事業 No.66

(3) 昨年の提言に追加しての提言

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、地域コミュニティの希薄化が進行することが懸念される。地域コミュニティの維持に注力されたい。 ・地域福祉コーディネーターの存在と役割の地域での認知度向上、更には民生児童委員との役割分担の明確化と住民への周知を計られたい。 ・ヤングケアラーの問題が顕在化している。まずは実態把握を進められたい。
--

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の2020年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	7-①	地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進
---------------	-----	--------------------------

年度戦略 (小戦略)	7-②	住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築
---------------	-----	----------------------

年度戦略 (小戦略)	7-③	移動困難者に対する移動手段の確保
---------------	-----	------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	66	事務事業名	地域福祉推進事業
---------	----	-------	----------

※事務事業No.66「地域福祉推進事業は、小戦略7-①、7-②、7-③ 共通。

年度戦略 (小戦略)	7-③	移動困難者に対する移動手段の確保
---------------	-----	------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	340	事務事業名	生活支援サービス創出コーディネート事業（再掲）
---------	-----	-------	-------------------------

※事務事業No.340「生活支援サービス創出コーディネート事業」は、小戦略6-① に関連。

基本目標 8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	8-①	地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 共助の実践において、情報の共有、課題認識の共有、関係各所との連携が重要。好事例の横展開を期待。 地域福祉課題検討会において出された課題の中で、行政の行う公助の事業展開の事例もあれば共有していくことが重要。 		

年度戦略 (小戦略)	8-②	住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 地域での見守り・支え合い活動を推進するため、個人情報適切な活用や民生児童委員と健康福祉委員の連携が重要。 住民支え合いマップは、地区によって精度にばらつきがあるため、活用を進めるうえでは一定の基準が必要。 		

年度戦略 (小戦略)	8-③	複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 相談者の属性、世代、相談内容にかかわらず包括的に受け止める「福祉まるごと相談窓口」を設置したことは評価できる。より一層の市民ニーズに対応した重層的支援体制が構築できることを期待。 しかし、制度の隙間で潜在化する支援困難者に対するアウトリーチ等の推進が課題。 		

年度戦略 (小戦略)	8-④	障がい者の社会参加の推進
<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 障がい者に対する正しい理解のための活動は、社会参加の推進に貢献すると考える。ハード面でのユニバーサルデザインの推進とともに心のユニバーサルデザイン啓発活動が重要である。 障がい者の働く場の創出、障がい者雇用の推進が必要。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

- 「③重層的支援相談件数」の目標設定の再検討を要する。
- 地域福祉課題検討会開催地区数(地区)から一歩進めて、実際に課題解決に取り組んだ地区数が必要。

基本目標 8 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる

1 基本目標の2020年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・取り組みの内容は概ね評価できるが結果に表れていない。 地区による差がある。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略（小戦略）ごとにまとめた。

年度戦略
(小戦略)

8-①

ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる
(20地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)

- ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。
- ・地区の取り組みにばらつきがある。また、センター長会での田舎に還ろう戦略の検討分析結果を地区へフィードバックすべきである。

⇒【小戦略8-①】事務事業 No.13 No.14

年度戦略
(小戦略)

8-②

地域課題に対応するための事業体の立ち上げと運営の支援

- ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。
- ・好事例の横展開と地域の人材育成（リーダーシップを取れる）を図る必要がある。

⇒【小戦略8-②】事務事業 No.14

年度戦略
(小戦略)

8-③

中山間地域をもっと元気にする

- ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしているが、市民意識調査から見ると役割を果たしたとまでは言えない。

⇒【小戦略8-③】事務事業 No.19

年度戦略
(小戦略)

8-④

地域自治を守り育むための仕組みづくり

- ・取り組み内容は評価できるが、役員負担の軽減、組合加入率の向上などの結果に結びついていない。組合加入推進の手がかりとして新規加入状況の情報提示を行うべき。

⇒【小戦略8-④】事務事業 No.10 No.11

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の 2020 年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	8-①	ふるさとパワーアップ! 20 地区の個性を輝かせる (20 地区「田舎へ還ろう戦略」支援事業)
---------------	-----	--

事務事業No.	13	事務事業名	総合的な空き家対策事業(再掲：基本目標 2)
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		各地区の空き家状況を再調査し貸し出し可能な物件情報の提供を求め、空き家バンクの見直しをされたい。増加する空き家に対して、特定空き家解体補助金や空き家活用等事業補助金の増額など予算を含めて検討されたい。	

事務事業No.	14	事務事業名	20 地区田舎へ還ろう戦略支援事業 (再掲：基本目標 2)
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		お試し住宅制度を拡充するために、空き家バンク登録家屋を利用するなど検討されたい。センター長会議での情報をまちづくり委員会と共有し、地区格差の是正につなげられたい。	

年度戦略 (小戦略)	8-②	地域課題に対応するための事業体の立ち上げと運営の支援
---------------	-----	----------------------------

事務事業No.	14	事務事業名	20 地区田舎へ還ろう戦略支援事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		前述	

年度戦略 (小戦略)	8-③	中山間地域をもっと元気にする
---------------	-----	----------------

事務事業No.	19	事務事業名	遠山郷振興事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		遠山地域の地力がつくまではあらゆる支援は必要。地域振興を持続していくため、地区の主体的取り組みを支援されたい。	

年度戦略 (小戦略)	8-④	地域自治を守り育むための仕組みづくり
---------------	-----	--------------------

事務事業No.	10	事務事業名	地域自治組織運営事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		センター所長会の得た情報が地域づくり委員会に提供され活用されているとは言い難いため、各地区への提供手法について検討されたい。	

事務事業No.	11	事務事業名	地域自治組織助成事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		パワーアップ交付金について、各地区における用途を検証し、今後の配分方法等を検討されたい。	

▼「いいだ未来デザイン 2028」中期計画

基本目標	9	20 地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める
------	---	-------------------------------

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	9-①	生き活きとした住民自治を育む
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略は概ね妥当。 ・地域運営組織の実態とその組織に対する活動支援の内容などを具体的に示し進められたい。 		

年度戦略 (小戦略)	9-②	地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20 地区田舎へ還ろう戦略」の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略は概ね妥当。 ・移住定住促進のため地区から貸出可能な物件情報の提供を求めるなど再調査し、空き家バンクの見直しをされたい。また、空き家のバンクホームページをより見やすくされたい。 ・当該地区だけでは解決できない地域課題もある。市がそれらを取りまとめ、その解決に向けボランティアを募集するなどの方策も検討されたい。 ・パワーアップ交付金 500 万円増額の効果を検証されたい。 		

年度戦略 (小戦略)	9-③	中山間地域をもっと元気にする
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略は概ね妥当 ・事業の継続性のため、必要な地域には複数の地域協力隊員の配置も検討されたい。 ・関係部署と連携した移住後のフォローに努められたい。 ・林業の視点も入れて活動されたい。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> ・指標の追加として「組合脱退者数」の指標設定も検討されたい。 ・自治組織加入率の「地区別数値」を把握する補足資料の提供を求めたい。 		
--	--	--

基本目標 9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する

1 基本目標の2020年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・取り組みの内容は概ね妥当。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略（小戦略）ごとにまとめた。

年度戦略 (小戦略)	9-①	市民活動団体のパワーアップ！
---------------	-----	----------------

- ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。

⇒【小戦略9-①】事務事業 No.12

年度戦略 (小戦略)	9-②	誰もが安心して地域で活躍できる、ひと・まちづくり
---------------	-----	--------------------------

- ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。

⇒【小戦略9-②】事務事業 No.22 No.24

年度戦略 (小戦略)	9-③	多様性を認め合う内なる国際化の推進
---------------	-----	-------------------

- ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。
- ・外国人向けの標識、案内、説明などが不足している。

⇒【小戦略9-③】事務事業 No.23

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性

—

② 取り組みの内容に対する評価

—

(5) 事務事業の2020年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	9-①	市民活動団体のパワーアップ!
---------------	-----	----------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	12	事務事業名	市民協働推進事業
---------	----	-------	----------

年度戦略 (小戦略)	9-②	誰もが安心して活躍できる、ひと・まちづくり
---------------	-----	-----------------------

事務事業No.	22	事務事業名	人権・男女共同参画推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		NPO法人など団体や専門家などによるネットワークを構築し活動されたい。	

事務事業No.	24	事務事業名	消費生活センター事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		消費生活相談件数が年々増加している。消費生活相談員など人材確保のため、正規職員の配置を予算の増額を含め検討されたい。エシカル消費に対する市民の理解が不足しており、啓発活動を促進されたい。	

年度戦略 (小戦略)	9-③	多様性を認め合う内なる国際化の推進
総務分科会の評価：		
○基本目標の2020年度の成果評価		
・概ね妥当		
○基本計画の見直し年度としての評価、今後に向けた課題・方向性等：		
年度戦略(小戦略)9-③ 多様性を認め合う内なる国際化の推進		
・概ね妥当		

事務事業No.	23	事務事業名	多文化共生社会推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		外国人向けの標識・案内・説明などを工夫して取り組まされたい。	

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	275	事務事業名	特別支援教育支援事業
事務事業No.	298	事務事業名	多様な学習交流支援事業
事務事業No.	316	事務事業名	人形劇のまちづくり事業

※事務事業No.275「特別支援教育支援事業」は小戦略3-④に関連。

※事務事業No.298「多様な学習交流支援事業」は小戦略4-②、4-③に関連。

※事務事業No.316「人形劇のまちづくり事業」は小戦略4-③、4-④に関連。

基本目標 10 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	10-①	地域づくりの活力を生み出すムトスの市民活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・エシカル消費は市民にまだなじみが薄くさらなる啓発が必要。小中学生に対するエシカル消費の教育もさらに進められたい。また、「地産地消」以外の部門でも取り組みを進められたい。 		

年度戦略 (小戦略)	10-②	個性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・LGBT の相談対応のため、NPO などの団体や専門家などとのネットワークを構築されたい。 		

年度戦略 (小戦略)	10-③	国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・多文化共生社会としてどのような社会環境を目指そうとしているのか、また、共生のための取り組みとして何をすべきなのかを示し進められたい。 ・外国人側のニーズを把握されたい。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

- ・指標として「多文化共生推進コーディネーターの人数」「駅前プラザ利用率」を追加されたい。

基本目標 10 豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる

1 基本目標の 2020 年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当。
- ・再生可能エネルギーは太陽光発電、木質ペレット以外にもあり、それらも入れるべき。(太陽熱、風力、水力、チップ、薪など) 市民生活の中で環境問題としての低炭素社会がまだ十分理解されていない。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・取り組みは評価するが結果が出ていない。
- ・実効性が上がっていないのは、政策目標の背景にある低炭素を地球規模の温暖化対策と考えるか、経済性として省エネを考えるかの点で市民感覚との相違が有ると思われる。地球規模の危機管理として、この問題を提言していく取り組みが必要だったのではないか。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略 (小戦略)	10-①	環境意識の醸成と身近な環境活動の推進
---------------	------	--------------------

- ・環境学習などの実施は評価できるが、結果に結びついていない。

⇒【小戦略 10-①】 事務事業 No.149 No.156 No.157

年度戦略 (小戦略)	10-②	省エネ・創エネ・エネルギーの域産域消を進め環境と暮らし・経済が好循環する地域社会をつくる
---------------	------	--

- ・取り組みは一定の役割を果たしたが、目標には達していない。

⇒【小戦略 10-②】 事務事業 No.150 No.151 No.152 No.153 No.154 No.155 (※No.254 建設部)

年度戦略 (小戦略)	10-③	他地域との交流、対流を通じて循環と共生のまちづくりを進める
---------------	------	-------------------------------

- ・中部環境先進市との取り組みなどを行っているものの市民への還元が不十分である。

⇒【小戦略 10-③】 事務事業 No.150 152

年度戦略 (小戦略)	10-④	緑と生物多様性の保全
---------------	------	------------

- ・基本目標達成のために役割を十分果たしているとは言えない。
- ・ジオパークの取り組みが不十分である。

⇒【小戦略 10-④】 事務事業 No.148 (※No.194 産経部)

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の 2020 年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	10-①	環境意識の醸成と身近な環境活動の推進
---------------	------	--------------------

事務事業No.	156	事務事業名	エコライフ啓発普及事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> ・飯田版エコハウス（ZEH仕様）が市民へ浸透するしきみを検討されたい。旧飯田測候所については、再度有形文化財としての目的に沿った運営について予算の減額を含め検討されたい。 	

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	149	事務事業名	環境教育推進事業
事務事業No.	157	事務事業名	環境改善活動推進事業

年度戦略 (小戦略)	10-②	省エネ・創エネ・エネルギーの域産域消を進め環境と暮らし・経済が好循環する地域社会をつくる
---------------	------	--

事務事業No.	150	事務事業名	環境モデル都市行動計画進行管理事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的を整理し、再構築されたい。 	

事務事業No.	151	事務事業名	おひさまのエネルギー利用推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> ・川路のメガソーラーいっだは中部電力の施設であるため、その維持管理は設置者に移管することを検討されたい。また、PR施設は当初の目的を達したと思われるため予算の減額を含め廃止を検討されたい。 ・一般家庭の蓄電システム設置補助は普及時期尚早と考えられ、省エネ機器への補助制度を検討されたい。 	

事務事業No.	152	事務事業名	もりのエネルギー利用推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		・ペレットストーブについては、能力・燃料費用などに課題があるため薪ストーブへの移行を検討されたい。	

事務事業No.	153	事務事業名	地域エネルギーマネジメント事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		・リニア代替地のモデル化について、移転者の負担増とならないよう再検討されたい。小水力発電は費用対効果を十分に検討し進められたい。	

事務事業No.	154	事務事業名	環境にやさしい交通社会形成事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車を利用した環境対策は事業としての役割を総括し廃止について検討されたい。現在保有する自転車は維持費がかかるため、予算の減額を含め今後の方向について検討されたい。 ・電気自動車用の充電ステーション設置補助を検討されたい。 	

事務事業No.	155	事務事業名	省エネルギー推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		・不用額が6割にも達するため、次年度は事業精査されたい。	

事務事業No.	254	事務事業名	建築指導事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		・事務事業としては継続であるが、ZEHに関する事業は、どの事務事業に整理すべきか検討されたい。	

年度戦略 (小戦略)	10-③	他地域との交流、対流を通じて循環と共生のまちづくりを進める	
---------------	------	-------------------------------	--

事務事業No.	150	事務事業名	環境モデル都市行動計画進行管理事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		前述	

事務事業No.	152	事務事業名	もりのエネルギー利用推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		・「渋谷区とのみどりの環交流」は、事業としての役割を終えていると思われるため改めて事業目的を見直されたい。	

年度戦略 (小戦略)	10-④	緑と生物多様性の保全
---------------	------	------------

事務事業No.	148	事務事業名	自然環境保全推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		・ジオパークについて、日本ジオパーク委員会での指摘事項を改善し、4市町村の協議会と連携し事務局体制の強化に取り組まれない。	

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	194	事務事業名	森づくり市民活動支援事業
---------	-----	-------	--------------

▼「いいだ未来デザイン 2028」中期計画

基本目標	11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進
------	----	----------------------------

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略(小戦略)の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	11-①	ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・プラごみの分別方法などあらためて周知されたい。 ・ごみの3Rの目的は、焼却場や最終処分場の維持にもある。その点も加えて進められたい。 ・環境問題として来飯者に対するポイ捨て防止に向け、飯田IC周辺等での啓発活動にも努められたい。 		

年度戦略 (小戦略)	11-②	家計や事業経営を助ける省エネ型への転換
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・自転車利用の継続には検討を要する。電気自動車用の充電ステーション設置を検討されたい。 ・ZEH仕様は市民の理解が十分でない。 ・蓄電機器は普及に時間がかかると思われるため省エネ機器に対する補助も検討されたい。 		

年度戦略 (小戦略)	11-③	エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当 ・太陽光発電は景観、環境、防災等への影響に配慮して進められたい。 ・防災力強化の面で公共施設での蓄電を検討されたい。 ・小水力発電は費用対効果を勘案した上で進められたい。 ・木質バイオマスについては、ペレットから薪への転換検討されたい。 		

年度戦略 (小戦略)	11-④	リニア駅周辺におけるモデルエリアの構築
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略に疑問がある。見直されたい。 ・代替地に建設する住宅に対してZEH仕様を求めることが、誰もが訪れたい地域として適切と言えるか。 		

年度戦略 (小戦略)	11-⑤	生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・「緑と生物多様性の保全」「ジオパーク」の観点がなく、これらを加えられたい。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (K P I)、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> ・「緑と生物多様性の保全」「ジオパーク」「ZEH仕様」の進捗を把握する指標を追加されたい。

基本目標 11 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める

1 基本目標の2020年度の成果評価

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・取り組みの内容は評価できる。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略（小戦略）ごとにまとめた。

年度戦略 (小戦略)	11-①	命と生活を守る市民防災力の向上
---------------	------	-----------------

- ・基本目標の達成に向けて、その役割を果たしている。

⇒【小戦略11-①】事務事業 No.261

年度戦略 (小戦略)	11-②	みんなが安心して暮らせる防災・減災のまちづくり
---------------	------	-------------------------

- ・基本目標の達成に向けて、その役割を果たしている。
- ・消防団員確保に課題がある。

⇒【小戦略11-②】事務事業 No.38 No.40 No.257

年度戦略 (小戦略)	11-③	緊急・災害時の情報伝達手段や収集機能の向上
---------------	------	-----------------------

- ・基本目標の達成に向けて、その役割を果たしている。

⇒【小戦略11-③】事務事業 No.261

年度戦略 (小戦略)	11-④	災害時にも都市機能が維持できる社会基盤の戦略的強靱化
---------------	------	----------------------------

- ・基本目標の達成に向けて、その役割を果たしている。

⇒【小戦略11-④】事務事業 No.236 (※No.247 建設部 No.356 水道局)

(3) 昨年の提言に追加しての提言

特になし。

(4) 分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

(5) 事務事業の2020年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	11-①	命と生活を守る市民防災力の向上
---------------	------	-----------------

事務事業No.	261	事務事業名	防災対策推進事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		・コロナ禍によりコミュニティが薄れていく中、自主防災会の役割は重要となっている。組織のあり方について各地域への支援・助言等に努められたい。	

年度戦略 (小戦略)	11-②	みんなが安心して暮らせる防災・減災のまちづくり
---------------	------	-------------------------

事務事業No.	40	事務事業名	交通安全施設整備事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		・各地区の要望に早急に対応されたい。 ・危険度・重要性の判断においては、リニア工事関連車両の増加が見込まれる路線について配慮されたい。	

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	38	事務事業名	交通安全事業
事務事業No.	257	事務事業名	非常備消防事業

年度戦略 (小戦略)	11-③	緊急・災害時の情報伝達手段や収集機能の向上
---------------	------	-----------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	261	事務事業名	防災対策推進事業
---------	-----	-------	----------

年度戦略 (小戦略)	11-④	災害時にも都市機能が維持できる社会基盤の戦略的強靱化
---------------	------	----------------------------

事務事業No.	236	事務事業名	防災・安全対策事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応に追われることにより既存の社会基盤整備（道路及び橋梁の長寿命化等）に影響が出ないようにするためにも、中長期的な視点に立った土木技術者の育成に業界と共に取り組まれない。 ・有利な起債は予算措置に期限があることから、計画的に事業が実施できるよう努められたい。 ・準用河川整備について令和5年までに調査完了とあるが、早急に調査を完了させ、河川台帳整備後、整備計画を策定し、予算増額の検討を含めて進められたい。 	

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	247	事務事業名	公園整備事業
事務事業No.	257	事務事業名	非常備消防事業
事務事業No.	356	事務事業名	妙琴浄水場更新整備事業

▼「いいだ未来デザイン 2028」中期計画

基本目標	12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る
------	----	----------------------------------

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期4年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	12-①	災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・法改正により「避難指示」に一本化されたことを踏まえ実効性ある学習会を開催されたい。 ・地域での訓練に児童生徒の参加を進められたい。 ・多様な情報伝達手段としてまちづくり委員会とも連携し災害情報メールの普及にも取り組まれない。 		

年度戦略 (小戦略)	12-②	災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・地域の防災訓練は、生徒児童の参加や災害弱者等にも配慮したより実践的なものとされたい。 ・有事の際、地区自主防災の機能が十分発揮できる組織体制構築に向けて地区への支援をされたい。 		

年度戦略 (小戦略)	12-③	飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・引き続き課題である団員確保に努められたい。 		

年度戦略 (小戦略)	12-④	通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・通学路アクションプログラムについて、まちづくり委員会や教育委員会と情報共有し連携して進められたい。 		

年度戦略 (小戦略)	12-⑤	災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略として概ね妥当。 ・前期に提言した「レッドゾーンの安全対策」について、関係機関と協議し重ねて取り組まされたい。 ・準用河川の調査については、令和5年と言わず早急に調査を進めて河川台帳の整備を完了させ、整備計画を策定されたい。 ・緊急避難場所となっている公園や小中学校等のトイレの洋式化はスピード感を持って進められたい。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の参加を促し、防災訓練参加者については目標値を見直されたい（上方修正）。 ・通学路に関する事故が全国的に見られることから、通学路アクションプログラムの対応状況がわかる指標を加えられたい。 ・「河川の危険個所の調査状況」「人身交通事故件数」を評価指標に加えられたい。

基本目標 12 リニア時代を支える都市基盤を整備する

1 基本目標の2020年度の成果評価

(1) 基本目標

基本目標に関して、①基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性、②取り組みの内容に対する評価について、成果指標等の推移から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

① 基本目標のねらいと取り巻く状況に対する認識の妥当性

- ・基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は概ね妥当であると評価する。

② 取り組みの内容に対する評価

- ・取り組みの内容を概ね評価する。

(2) 戦略計画

戦略計画に関して、「戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか」、成果指標やKPIなどから有効性を評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を年度戦略(小戦略)ごとにまとめた。

年度戦略 (小戦略)	12-①	リニア本線及び関連事業の整備推進
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たしている。 ・代替地の整備や農振除外に関する期間の短縮化など、目標達成に向けた努力は評価する。 ・駅周辺整備における移転対象者への対応は、全ての事業推進の基本であることから、説明が届かない移転対象者への対応を今一度検討されたい。 		

⇒【小戦略12-①】事務事業 No.44 No.46 No.47

年度戦略 (小戦略)	12-②	リニア駅周辺の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の取り組みは評価するが、基本目標達成のために、役割を果たしたとは言い難い。 ・デザインノートを具現化する3プロジェクトチームが発足したことは評価する。しかし、コロナの影響により推進が遅れているプロジェクトの今後の進捗が懸念される。 		

⇒【小戦略12-②】事務事業 No.45

年度戦略 (小戦略)	12-③	駅勢圏(駅の利用が見込まれる地域)拡大に向けた道路ネットワークの強化
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、その役割を果たしている。 		

⇒【小戦略12-③】事務事業 No.233 No.237 No.239

年度戦略 (小戦略)	12-④	リニアの二次交通の構築及び持続可能な地域公共交通の実現
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の取り組みは評価するが、戦略計画が基本目標達成のために役割を果たしたか評価し難い。 ・新たなモビリティ検討チームの勉強会を開催したことは評価する。 		

⇒【小戦略12-④】事務事業 No.33

年度戦略 (小戦略)	12-⑤	ICT 活用による飯田の魅力づくりチャレンジ
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の取り組みは評価するが、戦略計画が基本目標達成のために役割を果たしたか評価し難い。 ・2020（令和2）年度の指摘が反映されていない。 		

⇒【小戦略12-⑤】事務事業 No.34

年度戦略 (小戦略)	12-⑥	リニア時代を見据えた良好な土地利用の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の達成に向けて、概ねその役割を果たした。 		

⇒【小戦略12-⑥】事務事業 No.244 No.246

（3）昨年の提言に追加しての提言

<ul style="list-style-type: none"> ・総事業費の圧縮を目指し、関係先からの助成を含めた検討の経緯を議会に示されたい。
--

（4）分野別計画

成果指標等の推移から 評価できる点と今後に向けた課題、方向性等を整理した。

① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識の妥当性
—

② 取り組みの内容に対する評価
—

（5）事務事業の2020年度の成果評価

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画成の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめた。

事務事業の評価は、「基本目標や戦略計画成の達成のために、その役割を果たしたか」をポイントとして、今後の方向性を確認するとともに、検討・要望事項等をまとめる。

年度戦略 (小戦略)	12-①	リニア本線及び関連事業の整備推進
---------------	------	------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	44	事務事業名	リニア推進事業
事務事業No.	46	事務事業名	代替地整備事業
事務事業No.	47	事務事業名	リニア用地取得事業

年度戦略 (小戦略)	12-②	リニア駅周辺の整備
---------------	------	-----------

事務事業No.	45	事務事業名	リニア駅周辺整備事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の進捗について、議会と市民への説明を適宜に実施されたい。 ・8月に契約締結されたブランドクリエイティブプロジェクトなどを含め、公開性を確保しながら市民を巻き込んだ取り組みを進められたい。 ・駅舎と駅周辺整備事業との整合性を確保するため、JR東海との調整及び協議を早急に進められたい。 	

事務事業No.	254	事務事業名	建築指導事業(再掲 年度戦略10-②)
今後の方向性		検討・要望事項等	
継続		<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業としては継続であるが、ZEHに関する事業は、どの事務事業に整理すべきか検討されたい。 	

年度戦略 (小戦略)	12-③	駅勢圏(駅の利用が見込まれる地域)拡大に向けた道路ネットワークの強化
---------------	------	------------------------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	233	事務事業名	道路事業促進同盟会参画事業
事務事業No.	237	事務事業名	国県関連事業
事務事業No.	239	事務事業名	リニア関連道路整備事業

年度戦略 (小戦略)	12-④	リニアの二次交通の構築及び持続可能な地域公共交通の実現
---------------	------	-----------------------------

事務事業No.	33	事務事業名	交通体系整備事業
今後の方向性		検討・要望事項等	
改善		<ul style="list-style-type: none"> ・交通体系整備事業は多岐にわたっており関係する部署も多いことから、事務事業としてどのように扱うべきか整理検討されたい。 	

年度戦略 (小戦略)	12-⑤	ICT活用による飯田の魅力づくりチャレンジ
---------------	------	-----------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	34	事務事業名	IIDAブランド推進事業
---------	----	-------	--------------

年度戦略 (小戦略)	12-⑥	リニア時代を見据えた良好な土地利用の推進
---------------	------	----------------------

以下の事務事業については、今後の方向性を「継続」と評価した。

事務事業No.	244	事務事業名	都市計画推進事業
事務事業No.	246	事務事業名	土地利用計画推進事業

基本目標 13 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する

2 基本計画の中期初年度としての 2021 年度の評価

(1) 戦略計画

中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、①年度戦略（小戦略）の妥当性、②基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題、方向性等をまとめた。

年度戦略 (小戦略)	13-①	リニア・三遠南信時代を見据えた良好な土地利用の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・良好な土地利用の推進にあたり、条例による開発行為規制などを災害対策の視点で再度確認し、必要があれば見直しをされたい。 		

年度戦略 (小戦略)	13-②	リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・リニア駅周辺整備について、各プロジェクトの進捗状況を適宜議会に報告、市民に開示されたい。 ・三遠南信道の全線開通を見据え、天龍峡パーキングエリアの有効活用について、引き続き国との協議及び検討を進められたい。 		

年度戦略 (小戦略)	13-③	リニアの 2 次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、A I 等の技術を活用したスマートモビリティの実装
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は妥当である。 ・魅力的な観光地等へ移動させるための導線として、路線、近距離のタクシー、レンタル乗り物などの活用について研究されたい。 ・新たなモビリティ検討チームによる取り組みの方向性を示されたい。 ・持続可能な地域公共交通について、当地域における移動困難者や、運転免許返納後の移動手段の確保は今後も重要な課題となるため、担当部署の枠を超えた検討、協議をされたい。 ・J R 飯田線との接続方法についての検討状況が不明である。将来にわたる費用対効果まで示した上で、議会が検討できるよう準備されたい。 		

年度戦略 (小戦略)	13-④	デジタル化、先端技術活用推進に向けた研究と実装
<ul style="list-style-type: none"> ・中期 4 年間で取り組む基本目標の達成に向けて、年度戦略（小戦略）は概ね妥当である。 ・行政電子サービスの拡充においては、国のモデル事業に積極的に応募し、補助制度を活用するなど、市民サービスに資するよう先進市の取り組みを参考にスピード感を持って取り組まされたい。 ・デジタル化、先端技術活用推進に向けた早期実装のため、組織体制の強化を早急に取り組まされたい。 		

(2) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（K P I）、参考資料等が、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か否かを評価するとともに、成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題、方向性等についてまとめた。

<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況確認指標、重要業績評価指標（K P I）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として概ね妥当である。
--